

町議改選に際し 昭和會の魂膽

騒ぎ立てるは子供らしいといふ……
平町某有力者は語る

不毛の地を整理に變換して、其てやると言つた型で、それには處に有望にして有利なる事業を絕對勢力を有する小野晋平氏に起し、眞に永遠的に町民の福利對して、埋立問題を切つかけに民福を計らんとする計劃された内心小名濱町の將來を思ふ時に埋立事業は、一般社會人から頗る是非埋立を完成せねばならぬ事を期待されてゐるが、この埋立位は解り切つてゐるものゝ、人を敢行するに當つて、從來營ん氣を呼び起すにはこの問題で小でゐた、蛤養殖場、地曳網は當野氏に肉迫するの得策を感じた然廢さねばならぬが、このものであらうとは一般の觀測でれども例年次續きであるはあるが、平町某有力者は左の如に對し小野晋平氏は埋立に着手すると同時に、同町漁業組合に一時金一萬五千圓を支出するの契約を結んでゐる。小野氏が埋立事業を敢行せんとするに當つては、小名濱の幸福を基調としてゐる事は氏の言動に依りて明白である。然るに昭和會なるものが、片々たる理由を楯にして反對する事は解するに苦しむものがある、眞に同町を思ふ赤誠があるならば、何故に當事者たる小野氏に面會して談合を試みぬか、一回も交渉的談合もなさずして、犬の遠吠えするが如き行動を取つてゐる事は、愈々もつて昭和會の存在價值が稀薄になるのも當然である、この点から見て、徒らに空騒ぎをして反對の聲を放つといふ其の裏面には、卑怯な魂膽が潜んでゐる即ち町會議員の改選も近くに迫つてゐる關係から、勢力の無い者共が、昭和會を母体として打つて出ようといふ策謀して昭和會の裏面に糸を引き、昭和會も亦同會の意志を代表するならば出し

陽胃
専門 内科
腸十二指腸病
婦人病
皮膚病
電話 七〇一

松村病院
専門 皮膚病
電話 七〇一

金サ
天狗
印一
造製
一町治銀古町平
郎次善藤佐
番七六三話電

和久井屋漆店
平町一丁目
電話 四〇五番

芳香園油店
理髮器具化粧品一式
平警察署前

吉田眼科
平町紺屋町
電話 六八番

平五 山野邊藥局
痔の高級内服薬
「ダイサン錠」

釜屋商店
和洋銅鐵
金物問屋
磐城セメント會社特約店
磐城平 電話 一九三九番

高久病院
平町田町(電話五二三番)
醫學士 高久 忠
新編醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄

藤沼醫院
平町紺屋町
電話 平五〇七番
內科 小兒科 入院應需
花柳病科
內科 小兒科 外科 花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

外科専門 X光線科
平町南町
上田外科醫院
電話 一二九番

支那六神丸
特約店 平町五丁目 山野邊藥局

磐城共濟病院組織
院長 醫學博士 難波
副院長 醫學士 五十嵐雄二
內科部長 醫學士 中西林藏
外科部長 醫學士 鈴木憲介
外科部長 醫學士 鈴木憲介
婦人科部長 醫學士 五十嵐雄二
產婦人科部長 醫學士 五十嵐雄二
主任 醫學博士 難波
本院醫事法制顧問 法學士 岡澤 忠
本院主事 賀 治 蕃
◎御大典記念事業トシテ
一衛生試驗所(共濟病院內)十一月一日ヨリ開始
一病氣相談所(共濟病院內)十二月一日ヨリ開始
一救療所(共濟病院內)十二月一日ヨリ開始
電話 六四二番 磐城共濟病院
入院自炊ノ便アリ 看護婦見習募集

賀正 磐城無盡商會
賀正 金成金三
磐東銀行支配人

賀正 謹賀新年
(同不序順)
吉田 宗雄
比佐 源造
佐藤 信也
岡田 廣治
木井 敏三
保田 秀太
尻東 勇郎
大江 勇郎